

作家・評論家の小谷野敦が主宰する、大人のための人文系教養塾

2011 塾生募集

# 猫猫塾

- ・「読書ゼミ」
- ・「文学」講座
- ・「英語」講座

- ・十八歳以上で向学心旺盛な方なら、どなたでも受講できます
- ・受講には事前のお申込を。  
単回ごと／半年連続／年間連続で受講できます
- ・受講費は1回あたり800円～1800円

日時

■学期制

- ・夏学期:2011年4月～7月
- ・冬学期:2011年10月～2012年2月

■木曜日の夜間・土曜日の午後が開講

場所

メイン会場は「浜田山会館」  
「京王井の頭線・浜田山駅」徒歩5分  
(東京都杉並区)

## 猫猫塾の趣旨

猫猫塾は、作家・評論家の小谷野敦が二〇〇九年に開校した、人文系の教養塾です。講義を中心とする三講座に加え、個別指導も行っています。文学や歴史に関心のある、大学生・大学院生 社会人・主婦・定年退職後の方などのご参加をお待ちしています。

## プログラム

### ◆ 講座 全3講座（年間30回シリーズ）

●A:「読書ゼミ」 木曜日18:30-20:10  
半年かけて世界文学の名作を読むゼミです。前期はユーゴー『レ・ミゼラブル』、後期はロマン・ロラン『ジャン・クリストフ』です。

●B:「文学」講座 土曜日13:30-14:40  
シェイクスピア、スウィフト、バルザック、ゾラなど、世界文学のテキストを講読します。

●C:「英語」講座 土曜日14:50-16:00  
英米文学の原典講読を予定していますが、受講者の希望に応じて他のテキストも検討し、決定します。（講義の性格上、半年/通年の受講を強く推奨します）

### ◆ 個別指導

あなたの学習や研究を個別に指導します。研究論文の執筆や、大学院入試対策などにご活用下さい。面談・郵送・Eメール・スカイプ・電話等を通じて指導。詳細はご相談を。

## 参加費

■受講方法には、「単回」・「半年」(全15回)・「通年」(全30回)の3種類があります。また、これらを複数組み合わせでの受講も可能です。(ただし、個別指導には単回受講はありません)

■参加費には、「一般」と「学生」の区分があります。学生参加費は、4年制大学・大学院・短期大学・各種専門学校に在籍する全ての方に適用されます。

講座	一般		学生	
	回数	金額	回数	金額
単回	1回	¥1,800	1回	¥1,300
半年	全15回 (参考)1回あたり¥1,500	¥22,500	全15回 (参考)1回あたり¥1,000	¥15,000
通年	全30回 (参考)1回あたり¥1,300	¥39,000	全30回 (参考)1回あたり¥800	¥24,000

個別指導のみ	一般		学生	
	回数	金額	回数	金額
半年		¥4,000		¥3,000
通年		¥6,000		¥4,000

- 個別指導のみの場合の金額です
- 上記講座の「半年」を受講した場合は半年分の個別指導が、通年を受講した場合は1年分の個別指導が無料になります

**A: 読書ゼミ**  
木曜日 18:30-20:10

第1講	2011年4月14日 『レ・ミゼラブル』を読む(1)
第2講	2011年4月21日 『レ・ミゼラブル』を読む(2)
第3講	2011年4月28日 『レ・ミゼラブル』を読む(3)
第4講	2011年5月12日 『レ・ミゼラブル』を読む(4)
第5講	2011年5月19日 『レ・ミゼラブル』を読む(5)
第6講	2011年5月26日 『レ・ミゼラブル』を読む(6)
第7講	2011年6月2日 『レ・ミゼラブル』を読む(7)
第8講	2011年6月9日 『レ・ミゼラブル』を読む(8)
第9講	2011年6月16日 『レ・ミゼラブル』を読む(9)
第10講	2011年6月23日 『レ・ミゼラブル』を読む(10)
第11講	2011年6月30日 『レ・ミゼラブル』を読む(11)
第12講	2011年7月7日 『レ・ミゼラブル』を読む(12)
第13講	2011年7月14日 『レ・ミゼラブル』を読む(13)
第14講	2011年7月21日 『レ・ミゼラブル』を読む(14)
第15講	2011年7月28日 『レ・ミゼラブル』を読む(15)
第16講	2011年10月6日 『ジャン・クリストフ』を読む(1)
第17講	2011年10月13日 『ジャン・クリストフ』を読む(2)
第18講	2011年10月20日 『ジャン・クリストフ』を読む(3)
第19講	2011年10月27日 『ジャン・クリストフ』を読む(4)
第20講	2011年11月10日 『ジャン・クリストフ』を読む(5)
第21講	2011年11月17日 『ジャン・クリストフ』を読む(6)
第22講	2011年11月24日 『ジャン・クリストフ』を読む(7)
第23講	2011年12月1日 『ジャン・クリストフ』を読む(8)
第24講	2011年12月8日 『ジャン・クリストフ』を読む(9)
第25講	2011年12月15日 『ジャン・クリストフ』を読む(10)
第26講	2011年12月22日 『ジャン・クリストフ』を読む(11)
第27講	2012年1月12日 『ジャン・クリストフ』を読む(12)
第28講	2012年1月19日 『ジャン・クリストフ』を読む(13)
第29講	2012年1月26日 『ジャン・クリストフ』を読む(14)
第30講	2012年2月2日 『ジャン・クリストフ』を読む(15)

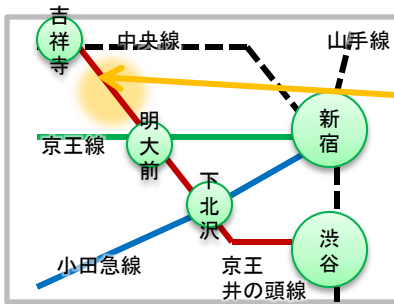
**B: 文学**  
土曜日 13:30-14:40

第1講	2011年4月9日 文学とは何か
第2講	2011年4月16日 シェイクスピア『マクベス』(1)
第3講	2011年4月23日 シェイクスピア『マクベス』(2)
第4講	2011年5月7日 シェイクスピア『オセロウ』(1)
第5講	2011年5月14日 シェイクスピア『オセロウ』(2)
第6講	2011年5月21日 シェイクスピア『ハムレット』(1)
第7講	2011年6月4日 シェイクスピア『ハムレット』(2)
第8講	2011年6月11日 シェイクスピア『お気に召すまま』(1)
第9講	2011年6月18日 シェイクスピア『お気に召すまま』(2)
第10講	2011年6月25日 シェイクスピア『リチャード三世』
第11講	2011年7月2日 スウィフト『ガリヴァー旅行記』
第12講	2011年7月9日 ソフォクレス『オイディプス王』『コロノスのオイディプス』『アンドロマケ』
第13講	2011年7月16日 アイスキュロス『アガメムノン』『供養する女たち』『慈みの女神たち』
第14講	2011年7月23日 エウリピデース『メディア』『ヒッポリュトス』
第15講	2011年7月30日 ※内容未定
第16講	2011年10月8日 ジェイン・オースティン『自負と偏見』(1)
第17講	2011年10月15日 ジェイン・オースティン『自負と偏見』(2)
第18講	2011年10月22日 シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』(1)
第19講	2011年10月29日 シャーロット・ブロンテ『ジェイン・エア』(2)
第20講	2011年11月12日 バルザック『従妹ベット』(1)
第21講	2011年11月19日 バルザック『従妹ベット』(2)
第22講	2011年11月26日 ゾラ『獣人』(1)
第23講	2011年12月3日 ゾラ『獣人』(2)
第24講	2011年12月10日 ゾラ『居酒屋』(1)
第25講	2011年12月17日 ゾラ『居酒屋』(2)
第26講	2012年1月14日 マーク＝トウェイン『ハックルベリー・フィン』の冒険』(1)
第27講	2012年1月21日 マーク＝トウェイン『ハックルベリー・フィン』の冒険』(2)
第28講	2012年1月28日 グレアム・グリーン『情事の終り』(1)
第29講	2012年2月4日 グレアム・グリーン『情事の終り』(2)
第30講	2012年2月11日 ※内容未定

**C: 英語**  
土曜日 14:50-16:00

第1講	2011年4月9日 英米文学を読む(1)
第2講	2011年4月16日 英米文学を読む(2)
第3講	2011年4月23日 英米文学を読む(3)
第4講	2011年5月7日 英米文学を読む(4)
第5講	2011年5月14日 英米文学を読む(5)
第6講	2011年5月21日 英米文学を読む(6)
第7講	2011年6月4日 英米文学を読む(7)
第8講	2011年6月11日 英米文学を読む(8)
第9講	2011年6月18日 英米文学を読む(9)
第10講	2011年6月25日 英米文学を読む(10)
第11講	2011年7月2日 英米文学を読む(11)
第12講	2011年7月9日 英米文学を読む(12)
第13講	2011年7月16日 英米文学を読む(13)
第14講	2011年7月23日 英米文学を読む(14)
第15講	2011年7月30日 英米文学を読む(15)
第16講	2011年10月8日 英米文学を読む(16)
第17講	2011年10月15日 英米文学を読む(17)
第18講	2011年10月22日 英米文学を読む(18)
第19講	2011年10月29日 英米文学を読む(19)
第20講	2011年11月12日 英米文学を読む(20)
第21講	2011年11月19日 英米文学を読む(21)
第22講	2011年11月26日 英米文学を読む(22)
第23講	2011年12月3日 英米文学を読む(23)
第24講	2011年12月10日 英米文学を読む(24)
第25講	2011年12月17日 英米文学を読む(25)
第26講	2012年1月14日 英米文学を読む(26)
第27講	2012年1月21日 英米文学を読む(27)
第28講	2012年1月28日 英米文学を読む(28)
第29講	2012年2月4日 英米文学を読む(29)
第30講	2012年2月11日 英米文学を読む(30)

## 会場



以下の2ヶ所を予定しています。

・**メイン会場：浜田山会館**

京王井の頭線・浜田山駅より徒歩5分  
(東京都杉並区浜田山1-36-3)

・**サブ会場：永福和泉地区区民センター**

京王井の頭線・永福町駅より徒歩5分  
(東京都杉並区和泉3-8-18)

(会場は決定次第、猫猫塾公式ウェブサイト等でお知らせします)

## お問い合わせ

最新情報と詳細は、猫猫塾公式ウェブサイト

<http://homepage2.nifty.com/akoyano/juku/> に随時掲載されています。

お問い合わせ・お申し込みは、

メール・ファックス・郵便・もしくは電話にて受け付けています。

・メールアドレス：[inquiries.for.nekoneko@gmail.com](mailto:inquiries.for.nekoneko@gmail.com)

・電話／ファックス番号：03-3318-5503

・郵送宛先：〒168-0065東京都杉並区4-30-10コルティール浜田山104  
小谷野敦「猫猫塾」運営事務局

## メディア掲載

猫猫塾の活動は、新聞・雑誌等でも取り上げられています。

- ・「私塾ならではの 型破りな講義」『日経新聞』2009年12月7日(夕刊)
- ・山川徹「学びへの入口は、すぐ近くにある」『望星』2009年5月号、東海教育研究所

## 著書

- ・『八犬伝綺想』(福武書店、1990年)
- ・『夏目漱石を江戸から読む』(中央公論社、1995年)
- ・『男であることの困難』(新曜社、1997年)
- ・『＜男の恋＞の文学史』(朝日新聞社、1997年)
- ・『間宮林蔵<隠密説>の虚実』(教育出版、1998年)
- ・『もてない男』(筑摩書房、1999年)
- ・『江戸幻想批判』(新曜社、1999年)
- ・『恋愛の超克』(角川書店、2000年)
- ・『片思いの発見』(新潮社、2001年)
- ・『退屈論』(弘文堂、2002年)
- ・『中庸、ときどきラディカル』(筑摩書房、2002年)
- ・『性と愛の日本語講座』(筑摩書房、2003年)
- ・『反＝文藝評論』(新曜社、2003年)
- ・『すばらしき愚民社会』(新潮社、2004年)
- ・『評論家入門』(平凡社、2004年)
- ・『恋愛の昭和史』(文藝春秋、2005年)
- ・『なぜ悪人を殺してはいけないのか』(新曜社、2006年)
- ・『谷崎潤一郎伝』(中央公論新社、2006年)
- ・『日本売春史』(新潮社、2007年)
- ・『日本の有名一族』(幻冬舎、2007年)
- ・『リアリズムの擁護』(新曜社、2008年)
- ・『猫を憐うに猫をもってせよ』(白水社、2008年)
- ・『東大駒場学派物語』(新書館、2009年)
- ・『私小説のすすめ』(平凡社新書、2009年)
- ・『天皇制批判の常識』(洋泉社新書、2010年)など、多数

## 小説

- ・『悲望』(幻冬舎、2007年)
- ・『童貞放浪記』(幻冬舎、2007年)  
(＝映画化、『童貞放浪記』小沼雄一監督、2009年)
- ・『美人作家は二度死ぬ』
- ・『中島敦殺人事件』(論創社、2009年)
- ・『母子寮前』(文藝春秋社、2010年)  
(＝第144回芥川賞候補作品)



# 小谷野敦

# KOYANO Ton

1962年、茨城県に生まれる。本名は敦(あつし)。1987年、東京大学文学部英文科卒業。1990～92年、ブリティッシュ・コロンビア大学に留学。1997年、東京大学大学院総合文化研究科比較文学比較文化専攻博士課程修了、学術博士(超域文化科学)。1997年より大阪大学言語文化部講師、同助教授、東京大学非常勤講師、国際日本文化研究センター客員助教授などを経て現在。2002年、『聖母のいない国』(青土社)でサントリー学芸賞受賞。